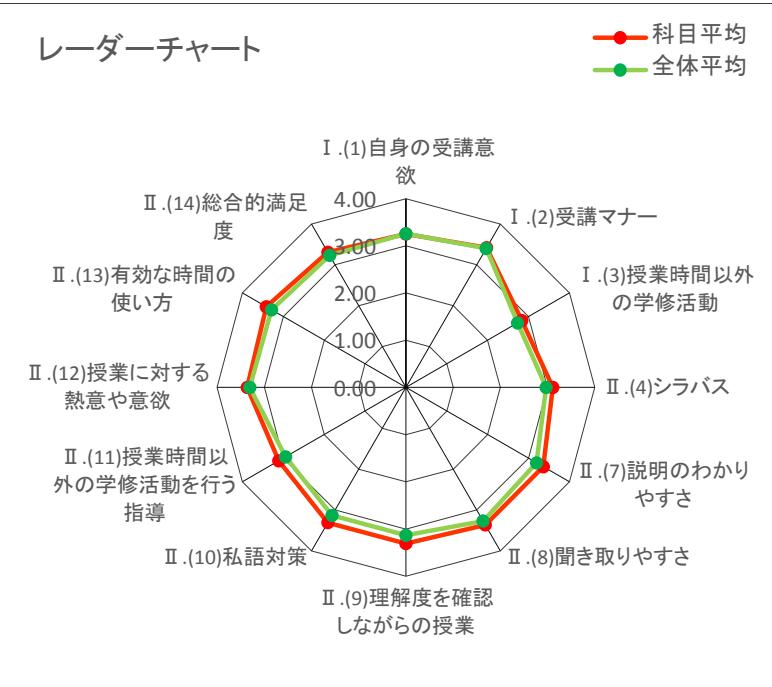
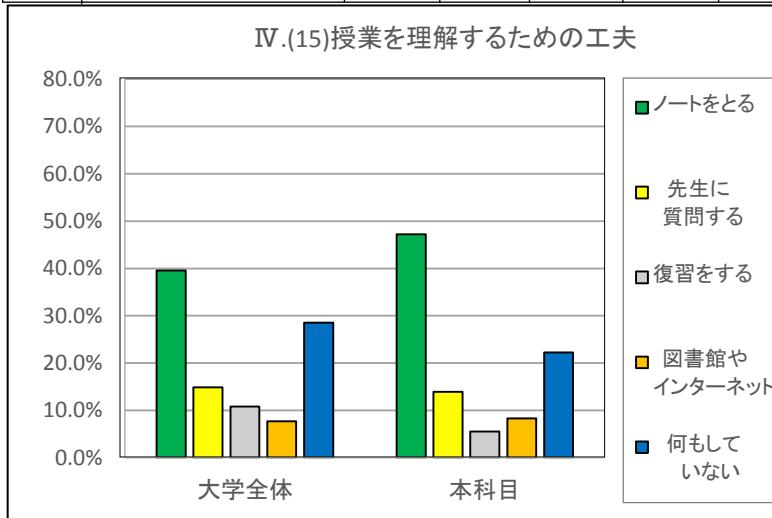


## 講義科目 授業アンケート結果



\*レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

| 〈※複数選択可項目〉          | ノートをとる | 先生に質問する | 復習をする | 図書館やインターネット | 何もしていない |
|---------------------|--------|---------|-------|-------------|---------|
| IV.(15)授業を理解するための工夫 | 47.2%  | 13.9%   | 5.6%  | 8.3%        | 22.2%   |



|                                 | 設問No    | 科目平均 | 全体平均 |
|---------------------------------|---------|------|------|
| 受<br>自<br>講<br>身<br>姿<br>勢      | I.(1)   | 3.25 | 3.26 |
|                                 | I.(2)   | 3.42 | 3.40 |
|                                 | I.(3)   | 2.83 | 2.73 |
| 講<br>義<br>内<br>容<br>・<br>方<br>法 | II.(4)  | 3.11 | 2.97 |
|                                 | II.(5)  |      |      |
|                                 | II.(6)  |      |      |
|                                 | II.(7)  | 3.36 | 3.20 |
|                                 | II.(8)  | 3.36 | 3.27 |
|                                 | II.(9)  | 3.31 | 3.13 |
|                                 | II.(10) | 3.31 | 3.13 |
|                                 | II.(11) | 3.11 | 2.94 |
|                                 | II.(12) | 3.36 | 3.31 |
|                                 | II.(13) | 3.42 | 3.29 |
| 満足度                             | II.(14) | 3.31 | 3.23 |

## アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

| 授業年度  | 2014年度 前期           |
|-------|---------------------|
| 時間割番号 | 41305/41355         |
| 科目名   | 人的資源管理論 I / 人的資源管理論 |
| 教員名   |                     |

### ①授業計画の達成度について

授業の開始時に、詳細な「予定表」を学生に渡し、それに則って授業を進めてきた。下述のように、学生との「対話」、Q&Aを重視したので、質問への回答に想定外の時間をとられたこともあったが、概ね、予定した内容を消化できた。

但し、授業後に、毎回、受講生に、今日の授業でわからなかったこと、疑問点等を半ば「強制的に」(「何もない」「ありません」類の記載は禁止である、と説明して)書いてもらい、次回の授業の初めに、提出された事柄について、復習を兼ねて説明し、当日の授業内容に移った。その分、授業において説明不足となることもあり、一部の学生に「難易度が高い」と感じさせたようである。

### ②授業の進め方について

毎回の授業の構成は以下のようであった。

- 前回の授業内容についての質問に答える
- シラバスに従って、当日の授業を進める
- 次回に質問に答える旨の説明をして、受講生に本日の授業でわからなかったことや疑問、常日頃疑問に感じていること等の記載を求める。  
上記のように、「何もない」「ありません」の記載を禁止することによって、受講生が理解できていないこと、担当者の説明不足の箇所、彼らの問題意識等を、例年以上に、知ることができた。  
尚、私語については、「私語厳禁」「ケータイ類使用禁止」と板書したうえで、授業中にも口頭で適宜注意するなど、適切な授業環境の構築に努めた。

### ③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

本年度の授業の特徴は、昨年度の評価が「全体平均」以下であったので、学生との質疑応答の場を徹底させたことである。  
そのため、本期の授業ではこれまで以上に受講生との一体感を強く感じる時間が多々あった。これはアンケート評価に反映しており、全体平均よりも低い評価はほとんどなくなり、担当者の「独り相撲」だったのかと思った昨年度の「苦い思い」を払拭することができた。これは受講学生の学ぶ姿勢の反映しており、昨年度と異なり受講学生の自己評価も高くなっている。  
後期は、前期の方法をより徹底させて、受講学生の動きを観察してみたい。

|                        | 本科目平均 | 全体平均 |
|------------------------|-------|------|
| 自身の受講姿勢<br>I.(1)～(3)   | 3.17  | 3.13 |
| 講義内容・方法<br>II.(4)～(13) | 3.29  | 3.15 |
| 総合的満足度<br>III.(14)     | 3.31  | 3.23 |